



小松 和彦氏

丁野 朗氏



高知県立大学創基70周年記念 文化学部特別公開講座

文化を活かす!!

グローバル時代の今、地域の文化資源をどう活かせば良いか？

◆日 時:平成28年**7月23日(土)** 14:00~17:00

◆場 所:高知県立大学永国寺キャンパス
教育研究棟1階A101講義室

◆問い合わせ先:文化学部事務室

TEL:088-821-7175 FAX:088-821-7103

E-mail:usuki@cc.u-kochi.ac.jpまで

参加無料

事前申し込みは
必要ありません

Part1 文化学部公開講演会 14:00~16:05

- 挨拶 岩倉秀樹(文化学部長)
- 基調講演I「グローバル時代の文化研究を考える」
国際日本文化研究センター所長 小松和彦氏
- 基調講演II「文化資源を活かした観光地域づくり」
公益社団法人日本観光振興協会常任理事・
総合研究所長 丁野 朗氏

(休
憩)

Part2 質疑応答・ディスカッション 16:15~17:00

- 登壇者 小松和彦氏・丁野 朗氏
- コメンテーター1 小長谷 悠紀
(高知県立大学文化学部教授)
- コメンテーター2 宇都宮 千穂
(高知県立大学文化学部准教授)
- コーディネーター 橋尾 直和
(高知県立大学文化学部教授)



小長谷 悠紀



宇都宮 千穂



橋尾 直和



■主催:高知県立大学文化学部

■後援:高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・RKC高知放送・NHK高知放送局・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・エフエム高知



高知県立大学創基70周年記念 文化学部特別公開講座

文化を活かす!!



講師プロフィール

小松 和彦氏 こまつ・かずひこ

国際日本文化研究センター所長。専門は、民俗学・文化人類学。

1947年東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学。信州大学助教授、大阪大学文学部助教授及び教授を経て、1997年より国際日本文化研究センター教授。その後2010年より同センター副所長を兼務、2012年4月より現職。2013年紫綬褒章受章。

著書は、『神々の精神史』（講談社学術文庫）、『悪霊信仰論』（講談社学術文庫）、『異人論』（ちくま学芸文庫）、『悪霊論』（ちくま学芸文庫）、『妖怪学新考』（小学館ライブラリー）、『いざなぎ流の研究』（角川学芸出版）、『妖怪文化入門』（角川学芸出版）、『伝説』はなぜ生まれたか』（角川学芸出版）など多数。



丁野 朗氏 ちやうの・あきら

公益社団法人日本観光振興協会常任理事・総合研究所長。

1950年高知県生まれ。1973年同志社大学卒業後、マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て1989年(財)余暇開発センターに入所、ハッピーマンデー制度の創設やサマータイム制度などの提唱と実現化事業の推進をはじめ、産業遺産活用・産業観光などの地域活性化事業、「レジャー白書」の編集・発行等に携わる。2002年(財)社会経済生産性本部に移籍。2008年から現職。(財)日本生産性本部「観光地域経営フォーラム」コーディネーター、法政大学キャリアデザイン学部・日本大学文理学部講師。経済産業省の「産業遺産活用委員会」等、関係省庁委員として各種政策形成に係わる。

コメンテーター・コーディネータープロフィール



コメンテーター 小長谷 悠紀

文化学部教授。
専門分野は、観光学。
観光地域形成・観光地計画・都市デザイン。
研究テーマは、観光交流の文化研究、他者寛容性のあるまちの形成。



コメンテーター 宇都宮 千穂

文化学部准教授。
専門分野は、都市形成史・地域経済論。
研究テーマは、近現代における企業城下町形成の研究、都市的生活様式とコミュニティ形成に関する研究。



コーディネーター 橋尾 直和

文化学部教授。
専門分野は、日本語学・方言学・言語学。
研究テーマは、地域言語の文化環境言語学的研究、東アジアにおける琉球・アイヌ・ヤマトの比較・対照文化言語学的研究。

アクセスマップ



- 高知龍馬空港から…○車・タクシー・バイクをご利用の場合/約40分
○バスをご利用の場合/永国寺キャンパスまで約50分
 - JR高知駅…○車・タクシー・バイクをご利用の場合/約5分 ○徒歩の場合/約20分 ○自転車の場合/約10分
 - はりまや橋から…○車・タクシー・バイクをご利用の場合/約5分 ○徒歩の場合/約20分 ○自転車の場合/約10分
- ※所要時間は目安です。交通状況によっては、時間がかかる場合があります。

—講演会場—

高知県立大学永国寺キャンパス
教育研究棟1階A101講義室

